

10月
新講座

世界史の中の満洲史

【講 師】 東洋史家 宮脇淳子
【開講日】 第2土曜 11:00～12:30
(10/13、11/10、12/8、1/12、2/9、3/9)

※10月より、会場は「久屋中日ビル(名古屋市中区栄4丁目16番36号)」です。

【受講料】 6ヵ月(全6回)分 17,100円＋税
【持ち物】 筆記用具



戦前大陸に出て行った日本人は、悪いことしかしなかったと教える自虐史観から卒業するためには、史実を知る必要があります。
本講座では、満洲を世界史の中に位置づけるとともに、日本史としても語りたいと思います。10月から始まる6ヵ月講座です。
(参考図書：宮脇淳子『日本人が知らない満洲国の真実』扶桑社新書、同『世界史のなかの満洲帝国と日本』ワック)

◇◆カリキュラム予定◆◇

- ① 10月13日 「満洲とは何か：種族名から地名へ」
- ② 11月10日 「満洲に勃興した諸民族」
- ③ 12月 8日 「清朝とはどのような国家だったのか」
- ④ 1月12日 「日清・日露戦争と当時の世界情勢」
- ⑤ 2月 9日 「満洲国と日本」
- ⑥ 3月 9日 「戦後の満洲と朝鮮半島」

◇◆講師プロフィール◆◇ 岡田宮脇研究室のHPより抜粋

京都大学文学部卒業、大阪大学大学院博士課程修了。博士(学術)。専攻は東洋史。
大学院在学中から、岡田英弘からモンゴル語・満洲語・中国史を、山口瑞鳳(現東京大学名誉教授)からチベット語・チベット史を学ぶ。東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所共同研究員等をへて、東京大学教養学部非常勤講師。

著書・・・『真実の中国史[1840-1949]』、『真実の満洲史[1894-1956]』、『韓流時代劇と真実の朝鮮史』、『モンゴルの歴史』、『世界史のなかの満洲帝国と日本』、『最後の遊牧帝国』、『朝青龍はなぜ強いのか?』
共著・・・『中国美女の正体』、『中央ユーラシアの世界』、『清朝とは何か』など。

詳細は右記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

※10月分より受講料には維持管理費が含まれています。
※一部の講座の受講料には音楽著作権使用料が含まれています。
※内容・日程は変更になる場合がございます。ご了承ください。
※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせください。
※お申込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承ください。

中日文化センターへ初めてご入会される方は、別途入会金(3,500円＋税)が必要です。



名古屋・栄 中日文化センター

Culture & Communication 中日新聞

フリーダイヤル

0120-53-8164 10:00～19:00
日曜日は17:00まで

〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル4F